

「計算材料力学」課題 1

中谷 彰宏

レポート提出日：11月9日(金) 講義開始時
(プログラムリストを添付すること.)

ハミルトニアン,

$$H(q, p) = \frac{1}{2}(q^2 + p^2) \quad (1)$$

で記述される 1 次元調和振動子系に対して, 時刻 $t = 0$ で, $q = 1, p = 0$ とする. 系の時間発展を追跡する問題を考える. q と p を成分とする 2 成分の相空間上のベクトルを定義し, オイラー法, 修正オイラー法 (2 次のルンゲ・クッタ法), 4 次のルンゲ・クッタ法, それぞれに対して, Δt と, 時刻 t のベクトル値 $(q(t), p(t))$ を与えれば, 時刻 $t + \Delta t$ のベクトル値 $(q(t + \Delta t), p(t + \Delta t))$ をを返す関数を作り, 以下の内容について検討しなさい.

1. $q(t), p(t)$ をそれぞれ横軸, 縦軸にとり, パラメータ t の曲線の軌跡のグラフを描きなさい.
2. それぞれの解法に対し, さまざまな Δt に対して, ハミルトニアンの保存性, 時間対称性, 計算時間の比較を行ないなさい.
3. 適当な時間ステップ Δt の選択について考察しなさい.
4. 速度ベルレ法,

$$\begin{aligned} p\left(t + \frac{\Delta t}{2}\right) &= p(t) - \frac{\Delta t}{2}q(t) \\ q(t + \Delta t) &= q(t) + p\left(t + \frac{\Delta t}{2}\right)\Delta t \\ p(t + \Delta t) &= p\left(t + \frac{\Delta t}{2}\right) - \frac{\Delta t}{2}q(t + \Delta t) \end{aligned}$$

を用いてプログラムを作成し上と同様の検討をしなさい.

【参考】常微分方程式の初期値問題,

$$\frac{dX_I(t)}{dt} = F_I(X(t), t), \quad X_I(t_0) = X_I^0, \quad (I = 1, 2, \dots, N) \quad (2)$$

の数値解法として, オイラー法, 修正オイラー法 (2 次のルンゲ・クッタ法), 4 次のルンゲ・クッタ法の手順を以下に示す. ここで, $X(t) = (X_1(t), \dots, X_N(t))$ である.

オイラー法

$$X_I(t + \Delta t) = X_I(t) + F_I(X(t), t)\Delta t \quad (3)$$

修正オイラー法 (2 次のルンゲ・クッタ法)

$$X_I(t + \Delta t) = X_I(t) + k_I^{(2)}\Delta t \quad (4)$$

ここで, $k_I^{(2)}$ は, 以下の手順で計算する.

$$k_I^{(1)} = F_I(X(t), t) \quad (5)$$

$$k_I^{(2)} = F_I\left(X(t) + k^{(1)}\frac{\Delta t}{2}, t + \frac{\Delta t}{2}\right) \quad (6)$$

$k^{(1)} = (k_1^{(1)}, \dots, k_N^{(1)})$ である.

4 次のルンゲ・クッタ法

$$X_I(t + \Delta t) = X_I(t) + k_I \Delta t \quad (7)$$

ここで, k_I は,

$$k_I = \frac{1}{6} \left(k_I^{(1)} + 2k_I^{(2)} + 2k_I^{(3)} + k_I^{(4)} \right) \quad (8)$$

で与えられ, $k_I^{(1)}$, $k_I^{(2)}$, $k_I^{(3)}$, $k_I^{(4)}$ は,

$$k_I^{(1)} = F_I(X(t), t) \quad (9)$$

$$k_I^{(2)} = F_I \left(X(t) + k_I^{(1)} \frac{\Delta t}{2}, t + \frac{\Delta t}{2} \right) \quad (10)$$

$$k_I^{(3)} = F_I \left(X(t) + k_I^{(2)} \frac{\Delta t}{2}, t + \frac{\Delta t}{2} \right) \quad (11)$$

$$k_I^{(4)} = F_I \left(X(t) + k_I^{(3)} \Delta t, t + \Delta t \right) \quad (12)$$

を順に計算することにより得られる. ここで, $k^{(v)} = (k_1^{(v)}, k_2^{(v)}, \dots, k_n^{(v)})$ (ただし, $v = 1, 2, 3, 4$) である.